



かわごえ



# 民児協だより

[第86号]

令和4年6月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



アジサイの色の花言葉  
青色は「辛抱強い愛情」です。

〔撮影者〕  
阿曾 富雄

## 川越市民生委員児童委員協議会連合会総会



川越市長 川合 善明

令和4年度川越市民生委員児童委員協議会連合会総会の開催にあたり御挨拶申し上げます。

民生委員・児童委員の皆様方には、日頃から地域の方々の相談役として、また関係機関へのつなぎ役として御活躍をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、本市は大正11年に県下初の市制を施行し、今年、100周年を迎えます。本市がここまで発展することができましたのも、その時代ごとに変化する地域の課題に真摯に取り組み、常に地域の方々に寄り添い、身近な相談役として御尽力いただいていた皆様方のお力添えによるものと深く感謝しております。また、近年は新型コロナウイルス

ウィルス感染症により社会が様々な影響を受ける中、柔軟に活動方法を見直され、地域のつながりを維持するべく御活動いただいておりますことを大変心強く感じております。

これから先も、様々な困難に直面するものと思われませんが、それら乗り越えるためには、どんなときも地域のつながりが重要であると考えております。皆様方にはその中心的な役割を担っていただき、地域福祉の要として引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、川越市民生委員児童委員協議会連合会のみならずの御発展と、皆様方の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

川越市制100周年に寄せて  
民生委員レジエントに聴く

大東地区

民生委員と人生

大金 正司

平成16年春に自治会長の退任を控えて、平成15年12月に民生委員を受けたその月に、自分の体内にガンが発見されました。しかし妻以外には内密で、放射線治療のため都内有明の病院に、週5日3ヶ月通院しました。



視察研修帰りの車中でのひととき

ガンと戦いながら自治会会長業務引継ぎ、そして民生委員の勉強・活動と、当初の半年間は心身共に疲れた時期でした。しかし、いろいろと経験したおかげで、その後の民生委員活動がスムーズに進められ、平成15年より平成28年まで12年間に渡り活動。その間大東民児協の会計3年、会長9年、川越市民児連の会計3年、副会長3年を歴任しました。

身体が不自由な方には、冬は火の始末や寒さ対策、夏は熱中症などの心配で、週2回は訪問し部屋の掃除や雪かき草むしりなどもしました。病気で自分の生き方を悩んでいる人は、私自身の経験も踏まえて励まし力添えなどしましたが、どこまで入り込んでよいのか悩みました。大東地区として高齢者の集い、配食サービス等は力を入れボラン



ティアの方々とは活動しました。又、年2回は各地域の施設や団体等を訪問、勉強会や研修会を実施し、車中では歴史講座や、夜の懇親会等と和気あいあいと相互親睦も図りました。地区内4つの小学校・3つの中学校とのかかわりも大切に、いろいろな行事に参加し、児童委員会活動も活発に行いました。12年間の民生委員活動を通じ、本当の人と人との繋がりがや助け合いの心を学べたことは貴重な体験でした。自治会長と民児協会長の違いも学びました。民生委員を退任した現在も、地域の見守り活動の隊長、



高階地区



藤 寿美

現在90歳になりますが、民生委員は昭和52年より平成19年の30年間、46歳から

76歳まで務めさせて頂きました。離れて15年もなりませんが、基本の活動は変わっていないと思います。毎月の定例会や県内外での研修施設訪問、体操の会やお弁当訪問他、担当地区での個人的自主的な活動でした。良かった事も困った事も、担当地区での関わりです。母子家庭のお宅のお子さんが不登校になり、朝はお母さんが不在になりお困りとの事で、毎朝玄関先で起床と何かしらの飲食を促し、校門まで見送ったり、同居の母子家庭のお孫さんの進学等のご心配のある方に、生活保護の受給について行政とのつなぎ役をしたりもいたしました。その方達がどうか今もお元気で過ごさるごしの事と願っております。

ただ、情報が国勢調査や市からの名簿、民生委員の存在を知り行動を起こして下さる方からなどの場合しか対応する事ができないのと、中には介入してほしくない方もいらつしゃいますので難しいところです。又、



生活保護を状況を偽って受給しているなどの情報があつても民生委員には介入の線引きも色々あり難しいです。が、つなぎ役としてやれる事はあります。昔も今もこれから、助けを求



昭和60年9月（浦和会館にて）  
第12回 埼玉県民生委員・児童委員大会  
川越舟唄で川越を紹介



めたら応じてくれると思われ存在にならないと。まずは民生委員という、行政などへのつなぎ役として、担当者が自分の住まう地区にいてほしいことは皆様に知っていただきたいです。ただあまりに近所の方だと敬遠される事もありますので、担当地区などは考慮すべきと思います。

子供から高齢者まで皆が住みやすい社会になってほしいです。これからの皆様のご活躍に期待しています。このような機会をいただきありがとうございます。



民生委員活動の今昔

高階地区



田中 幸子

平成元年に委嘱されてから現在に至る民生委員活動。当時の活動は訪問、相談支援、行政機関へのパイプ役で、殆んどが各行事等の来賓としての出席が多く、どちらかと言うと、お客様的な扱いでした。委員になつて直ぐ担当地域で飛び込み自殺があり、委員として何か把握していたかと聞かれ、とてもショックでした。

ご家族で暮らしており、それ程高齢でもなく、相談事もなかったのです。この事をきっかけに、地域を隈無く訪問し、地域の方々に顔だけでも覚えていただけるように、一生懸命活動しました。お陰様で地域からの信頼もつけられる様になり活動もスムーズに行える

ようになりました。しかし個人情報保護法が導入されたからの活動は、それまでとは一変しました。

社会調査への協力依頼、回収等も以前の半数位となり、地域の状況把握も困難となりました。そして、地域コミュニティの減少、隣は何をする人ぞ的、無関心派が多くなりました。しかし、2011年3月11日の東日本大震災や阪神淡路大震災等々で隣り組の大切さ、地域コミュニケーションの大切さが分かり始め、民児協としても、災害時一人も



川越市民生委員児童委員協議会連合会 平成15年7月7日  
於 草津温泉 ホテル櫻井

見逃さない運動を行うようになり、又、高階地区で被災地での研修も行われ、想像以上の災害だった事が分かり、防災への考え方ももう一度見直す機会となりました。今と昔根本は変わってませんが、世の中の流れに合った活動も求められています。新型コロナウイルス感染症のため、活動も儘ならず苦勞している委員さんも、一工夫で活動もスムーズに行えます。

これからの委員さんに望む事は、ご自身とご家族の命を守る事、無理のない活動、そして、後輩を育てていただく事です。



生きがい訪問

● 第八地区 ●

村井 芳枝さん



85歳 私がこの年まで元気で生きているとは思っていませんでした。ニュース等で言われる人生100年時代がきたんですね。あそこが痛いここが痛いと言いながら体だけは動かしています。筋肉が落ちるのが一番怖いですからね。

朝5時に起き近くの公園でラジオ体操、7時から仲間と1時間〜2時間太極拳をやります。扇を使ったり刀を使ったり7種目練習。週5日、ゆつくりの動作が体に良いそうです。

50代後半から太極拳に夢中になり本場の北京に行き数回大会にも出場しています。65歳以上の部で一位に

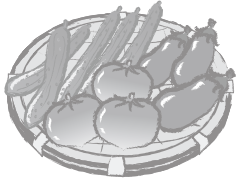


なつたこともあります。その時の写真です。

今ではグラウンドゴルフにも仲間入りし週3回。久しぶりに入ったホールインワン、子供のように嬉しいです。

又借り農園で草花、数種類の野菜を作り、芽が出た、花が咲いたと、生長を楽しんでいます。

旅行も大好きで都合がつか次第入れていただきます。



月に一度の歩こう会、四季折々の景色を眺めながら、お喋り笑いと賑やかに、足の疲れも忘れるほど楽しいです。

これからも良き仲間恵まれ、体を動かし、食べ物も好き嫌い無く良く食べて、一日一日を大事に過ごしていきたいと思ひます。

● 川鶴地区 ●

堀口 宏さん



交差点がない。見晴らしが良く春夏秋冬それぞれの移ろいや景色を感じ取りやすい。

朝日を浴びて農道を歩いて小畔川左岸の堤防の天端に着く。一息入れて景色を眺める。冬の空気が澄んだ日には、西の方向に眞白な日本一の秀峰 富士山を遠く仰ぎ見ることが出来る。その手前に関東山地の山並みが北の方角に続いている。さらにその手前には笠山・堂平山・刈場坂峠・横峠が連なる奥武蔵の山々の姿をはつきりと眺められる。堂平山は、東京天文台観測所が設けられたり埼玉国体夏季大会の炬火が採火されたりした有名な山である。私が生まれて育った故郷の山で、山菜を採りドライブした思い出があり懐かしい。

兔追いしかの山 小ぶな釣りしかの川 夢は今も巡りて 忘れがたき故郷の思いが込み上げる。

富士に向き ゆつくり歩く九十扇

九十年 見慣れし山の初景色



歩いて顔見知りの知人に出合うことがある。

笑みと僅かの言葉の交わり合ひでも歩きへの共感と温もりを感じて一人歩きの倦しさを癒してくれる。

私は、子供の時、1〜2キロメートルの坂の多い古い道を歩いた。埼玉県師範学校在学中は、八高線明覚駅から10キロメートルの県道を歩いて帰省した。教員就任中もよく歩いた。退職してから本気で歩くようになり、今ウォーキングは最大の趣味となった。「老いて歩けば朽ちず」の思いでおしつかり頑張るつもりでいる。老いに立ち向かい歩き続ければ、老後はまだ充分長く、余生を面白く生きられると思っている。

### 地区民児協だより

#### 福原地区

太田 穎子

いもっこ体操に参加していた70代の時に、民生児童委員の話があり最初は、器ではないと辞退しました。然しまだ体力、気力もありそうなので多少でも人様のお役に立てればと思ひ引き受けました。

受けた以上やるしかないとの決意でしたが、コロナ禍で訪問はできなく、ただの見廻りだけでは不審者に見られるかもしれない。そこで定例会資料の中、『ほ



うかつ みずほ』を活用してのポスティングを思いました。自宅のコピー機ですぐにインク切れになり、ついに近くの地域包括支援センターにお願いし協力を得て必要枚数を用意していただきました。

裏面には、定例会の資料や、広報の救急キットなどが広く読んでもらいたい記事が沢山ある中から特に「これを見て」と決めて、軽く読んでいただけるといい内容を選別したのが案外好評のようでした。現在は約100枚になり今後もっと増えそうです。

ある日庭にいたご夫妻に今までのチラシは良く見て全部とってありますよ、と言っていたいただき感激しました。高齢者以外にも要支援者の世帯にも配布しています。何かあったら支援が必要の方がいるため意識づけのためです。

現在コロナ禍でいもっこ体操はお休みを余儀なくされています。早く良い時期が来ることを願っています。

#### 霞ヶ関地区

塩川 春江

出来る事で関わりを！

霞ヶ関地区は、日高県道が通り、入間川を渡った川越の西部に位置します。

世帯数は14,250、人口は約3万2千人、65歳以上は27%、自治会数は23、民生委員は37名です。

静かな住宅地域が広がっていますが、入間川や小川沿いは、豊かな自然環境です。かすみ野地区・水久



地域包括かすみ 町歩き

保地区・笠幡団地は高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増えていきます。

コロナ禍、霞ヶ関民児協の定例会は、会議・研修6回、資料配布6回と活動が制限されました。状況により会議ができる時は、DVD研修をしたり、「地域包括支援センターかすみ」の話を聞いたり、訪問活動の事例報告を聞いて、みんな話し合い、新任民生委員さんが、高齢者に迷わず自信を持って話せるように共通理解を図っています。

民児協は、3D立体型マスクを2回配布して、高齢者の見守り活動をしました。「快適な呼吸で話し易く、いいマスクだね。」



の上ほのほの料理クラブ

と大変好評で喜ばれました。そして2度目のマスク配布となりました。マスクを配りながら、高齢者に寄り添い相談や支援を行いました。コロナ禍で外出を控えたり、運動不足になりがちな高齢者にアドバイスしたり励ましたり、人とのつながりの大切さを感じました。「来てくれて有難う。」と笑顔で応待する高齢者を見て、孤立させてはいけません。声かけや見守りをして、関わりを持ち続けなければと思います。地域の方との絆を大切に活動します。





第二地区

横田尚子

新たな工夫を

高澤橋の下を流れる新河岸川（赤間川として親しまれていた）を中央に、南西に石原町一・二丁目。南東に元町二丁目、幸町、末広町一・二・三丁目、仲町の八つの自治会で構成されているのが第二地区です。

「蔵造りの街並み」「菓子屋横丁」そして、河越重頼（源義経に娘を嫁せたとい



交流事業として長年行われてきた「七夕まつり」。飾り付けられた竹が並ぶ様子は壮観で地域の方に好評でしたが…。

人が多く集ま

う）墓所のある養寿院をはじめ多くの寺院の集まる「寺町通り」など観光客が行き交い、メディアによく取り上げられる地域には、今も古くからの住宅地が多く、何代にもわたって住み続けている世帯も少なくありません。その周囲に広がる住宅地やマンションには子育て中の若い世代も多く幅広い年齢層で、構成されている地区と言えるでしょう。

コロナ禍により中止や縮小を余儀なくされた活動が数多くあります。山車持ち町内による川越祭りへの参加、納涼盆踊り大会や新河岸川の灯籠流しなどの地域の行事。地区社協の世代間

ることができない中で、民児協では、見守り活動に力を入れ、電話やひと言を添えた季節のカードなどをポストイングすることにより、気持ちは寄り添っていることをできるだけ伝えようと工夫してきました。

コロナの感染が減少した時期を見計らい、高齢者世帯への「友愛訪問」で、顔を合わせたり。各自治会館での体操教室や趣味の会も開催することができました。今後も、コロナの状況を鑑みつつ、多くの方々と知恵を出し合い、工夫を重ね元気で楽しく多くの世代がつながり合える地域作りに協力できればと思います。

川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「福祉団体」をクリック

市民児連の「民児協だより」の各号をクリック

川越市社協

検索



主な市民児連活動予定

- 6月6日 理事会
- 8月1日 理事会
- 8月22日 全員研修会
- 8月29日 理事会
- 10月3日～4日 地区民児協 正副会長研修会

時の鐘

今年3月伊東正晃広報部会長が突然の病で逝去されました。部長であり、また同じ編集グループのメンバーである大黒柱を失い、とても不安な状態で編集が始まりました。その中で伊東部会長は、すでに今号の準備をしてくださっていました。

定例会でも編集会議の時も、暴走していると戒め、アドバイス。停滞していると進めるよう適切にアドバイスしてくださり、それは決して不快な言葉かけではありませんでした。器の大きさを感しました。今回は伊東部会長を想いながら編集しました。

伊東正晃広報部会長に感謝申し上げますとともにご冥福を心よりお祈り申し上げます。

第86号の編集担当は、小野守・田上好弘・松田令子・斉藤奈緒美・比佐實・網島裕子・吉本恵美子の7名です。

